平成２９年春 No.６３

よしかわ里已（さとみ） 市議会報告

市政に対するご意見は Facebook『吉川里已』まで！
［公式サイト］http://yoshikawasatomi.com　［メール］info@yoshikawasatomi.com　［ツイッター］@syoshivv

平成２９年３月議会のまとめ（条例・予算）

◎副市長に北川氏、浅井氏

北川政次氏

浅井雅司氏

永年に渡り武雄市政にご貢献いただいた前田敏美副市長の退任に伴い、前総務部長の北川政次氏と前副教育長の浅井雅司氏が新しい副市長に任命されました。北川氏は政策事務を、浅井氏は福祉と子育て事務を担当し、2009年以来の2名体制で小松市長を支えてまいります。

◎いよいよ365日の小児時間外診療がスタート

武雄地区休日急患センターでは火曜日と水曜日の小児時間外診療は休診でしたが、4月1日からは曜日に関わらず受診できます。夜7時から9時まで、365日の受診が可能となり、子育て中のご家族にとって力強い環境が誕生します。小松市長が就任時から掲げていた重要施策のひとつで、市長自ら積極的に動かれた成果といえます。

◎小学校全普通教室へのエアコン設置に向け設計に着手

一歩進みました。昨年9月議会の一般質問で小学校にエアコン設置を求め、小松市長からは前向きの答弁をいただいていました。当初予算で全小学校の普通教室にエアコンを設置するための設計業務委託経費が計上されました。今後計画的に設置される予定で、猛暑日の中で学習する子どもたちの命と健康を守る環境が整うことになります。予算額［653万円］

◎被害者の方の声を受け止めて

犯罪の被害者となられた方々の心情を受け止め、被害に遭われた方、ご家族の方々を支援するための条例が設けられました。被害者やご遺族が直面する諸問題の相談に応じるほか、見舞金の支給制度も設けられます。被害者やご遺族への配慮なども市民の責務と規定されています。条例の有益な活用と十分な広報活動が市には求められています。

◎住民票1通が県内の市並みに

住民票や印鑑証明書の交付手数料が県内他市と同額の300円に見直されます（7月1日から）。合併する前の武雄市では住民票や印鑑証明書は1通300円でしたが、合併後は200円に引き下げられました。合併し10年が経過、県内9つの市役所はすべて300円で、今後の財政事情も勘案し他市並みに見直されます。今後はコンビニ交付も検討されているようです。コストと利便性のバランスが実現すれば期待したいサービスです。

◎ゴミ袋の価格が見直されます

昨年から武雄市で発生した家庭ごみは伊万里市松浦町に新設されたごみ処理センターで処理されています。ごみ処理費用の見通しなどを踏まえ、県内市町村並みにゴミ袋の価格が見直されます。35リットルの可燃物の袋は1枚35円が40円に、粗大ごみステッカーは1枚154円が200円に見直しが行われます。7月1日から実施されます。まずはゴミの減量が大切、堆肥化などに努めることも肝要です。

◎新規就農者へ朗報です

新たに就農を考えている方を対象にしたトレーニングファーム事業が大きく動き出します。ハウス園芸（きゅうり栽培）の営農指導を受けることができるハウス3棟が朝日町に建設され、JAさがなどの運営協議会がきめ細やかな栽培指導を2年間実施します。全額を県が負担し推進するもので、武雄市の移住事業との連携効果も期待されています。
予算額［1億1787万円］

◎学校施設の整備が加速します

北方小学校と武雄北中学校の校舎整備費の追加を国が認め、教育環境の整備が前倒しで取り組まれます。北方小学校は教室棟の第2期工事に着手、エレベーターの設置工事も進められる予定です。武雄北中学校は教室棟の大規模改造第1期工事に着手、計画的推進による安心安全の教育環境が実現します。　予算額［4億1729万円］

◎こどもの医療費が軽減されます

県内の医療機関で受診した際、中学生までなら窓口で定額を支払うだけで負担がすむようになります。これまでは窓口で支払った3割分を戻してもらうための手続きが必要でしたが、4月からは不要です。子育て家庭での医療費は臨時の支出、負担は大きいのです。手続き不要で医療費負担が軽減される、理想的な制度です。予算額［1億3400万円］

◎10月こども図書館開館へ

リニューアル後わずか4年足らずで300万人の来館者を迎えた武雄市図書館の西隣に10月、こども図書館が開館します。現在建築中で、新たな子育て支援の環境と学びの場が誕生します。近隣には文化会館、武雄神社などがあり、文化や歴史にふれることができる環境に恵まれています。子どもと親、祖父母が一緒に学べる充実の空間が誕生します。　予算額［2億5035万円］

◎図書館の学習コーナーが充実します

武雄市図書館の学習コーナーが増設されます。CD・DVDレンタルコーナーを改修し新たに学習コーナー50席を設けるもので、グループ学習や学びの場として提供される予定です。もちろん利用無料です。図書館は本を借りたり読むだけでなく、学習の場としても利用されています。知の拠点ともいわれる武雄市図書館はさらに充実していきます。
予算額［1841万円］

裏面へ続く

よしかわ里已（さとみ） の一般質問　武雄の未来。よしっ！

◎高校進学準備金支給など新たな貧困対策がスタート

貧困になる前の早い段階からこどもに寄り添う新たな支援、こどもの笑顔コーディネーター制度が始まります（予算額228万円）。こどもとともに伴走する優しい取り組みです。経済面では、住民税非課税等世帯を対象に高校進学等準備金（2万円）の支給制度が新たに設けられました（予算額130万円）。全国初といわれる制度です。新入学用品費の支援額も増額されます（予算額267万円）。教育、子育てを一丁目1番地に掲げる小松市長のやる気が表れた取り組みです。　予算額［625万円（3事業合計）］

◎中学生に放課後補充学習支援

放課後や夏休み期間を活用し、中学3年生を対象に補充学習が実施されます。高校受験を控える生徒に受験の不安を少しでも解消してもらい、目標の高校に進学できるよう支援する取り組みです。教師を目指す学生や教諭のOBなどが教えます。教育は市の次代を担う人を育てる小松市政の重要課題、日々の地道な学びこそが大切です。予算額［262万円］

◎肥育農家へ新たな経営支援策です

肉用牛素牛の導入に新たな支援制度が設けられます。武雄産子牛を市場で調達する場合に一頭当たり5万円を補助する制度で、肥育牛の品質向上と肥育農家の所得向上を目指しています。武雄産の子牛は市場での評価が高く、肥育農家が仕入れる場合は多額の経費を必要とします。武雄産の優秀な子牛を武雄の肥育農家が育て販売することで武雄産ブランドの確立にもつながる取り組みです。　予算額［300万円］

◎運転免許証自主返納でタクシー割引

75歳以上の方が有効な運転免許証を自主的に返納すれば、タクシー料金が1割引される制度がスタートします。市内のタクシー会社（武雄タクシーと温泉タクシー）で利用できます。運転経歴証明書を公安委員会から交付してもらい、市役所で手続きをすることになります。車やバイクの運転に自信がなくなったら、運転免許証を自主返納しましょう。
予算額［72万円］

平成２９年３月議会　よしかわ里已の一般質問

競輪事業の活性化で市民福祉の充実を

昨年秋に武雄競輪場のメインスタンドが建て替わった。競輪事業はこれまで150億円以上を一般会計に繰り入れ、文化会館や白岩体育館などの整備充実に役立ってきた。また400人を超える雇用にも結び付いてきた。リニューアル後の売り上げはどのような状況か。
小田営業部理事／今年度は93億円の目標に対し、2月までで98億4千万円を売り上げており、約5億円の増となった。特に、F2のミッドナイトが好調な売り上げである。
小松市長／全国的には競輪場の閉鎖もあるが、武雄市は昨年秋にリニューアルした。武雄市は競輪とともに歩んでいく決意の表れである。5億円の売り上げ増は多くの関係者のおかげであり、感謝している。

F2モーニングレースを2月に3回開催されたが、一部のレースは天候不順で順延された。モーニングについては日照時間の長い夏場に開催すべきではないか。
小田営業部理事／今年度は1年分のレースを半年で開催したため、ご指摘のような状況が発生した。来年度以降は夏場を中心に開催したい。

選手宿舎、車検場、選手待合室などは築40年を超え老朽化がひどい。間もなくリニューアルの時期が来ると思う。今後の改修計画をどのように考えているのか。
小田営業部理事／宿舎、車検場、特別観覧席は築40年以上がたっている。宿舎は選手にとって特に重要であり、早期に収益が上がれば積み立てを行うとともに改修計画も立ていきたい。

平成13年までは毎年競輪事業から一般会計へ繰り入れが行われたが、平成14年度からは行われていない。今年度は売り上げも増えて収益も上がっている。一般会計への繰入についてどのように考えているのか。
小田営業部理事／平成31年度から10年間一般会計へ繰り入れを予定しており、その後も繰り入れを行いたい。
小松市長／競輪事業で出た利益をしっかりと市民の福祉向上のために使っていくことが大事だ。平成29年度は共同通信社杯を予定している。この売上いかんにもよるが、一日でも早く一般会計へ繰り入れ福祉の充実に役立てたい。

競輪事業を充実拡大させていくためにはスタッフの増員が必要だ。土、日、祝日、深夜まで職員は過酷な状況で頑張っている。事業主としてどのように思っているのか。
小田営業部理事／職員の勤務状況については承知している。スタッフの増強は必要と考えており、臨時職員での対応を考えている。
小松市長／ミッドナイトレースまでやると、業務終了は深夜2時頃になる。必然的に職員の勤務時間は長くなっている。職員体制については臨時職員等での対応を含め柔軟に対応していきたい。

競輪はあくまで事業である。来年度は様々なビッグレースが行われるが、どのような方向性で取り組むのか。
小田営業部理事／9月に開催する共同通信社杯がメインのレースと考えている。7月には西日本カップも予定している。場外発売にも力を注ぐとともに、モーニングレース、ミッドナイトレース、ナイターレースをうまく組み合わせ取り組んでいきたい。

武雄物産館の南側に場外車券売り場サテライト武雄がある。築10年が経過したトイレで、ウォシュレットはなく暖房便座でもない。一日300人もの来場がある。早期に改修すべきではないか。
小田営業部理事／サテライト武雄の施設は築10年が経過している。施設の所有者と話し合い、できるだけ早く改修したい。

サテライト武雄の建物は駐車場と一体となっているが、建物と駐車スペースの間に車の誤発進に備えた安全設備がない。コンビニなどのように車止めのポール設置が必要ではないか。
小田営業部理事／早朝からお客様が来場されている。高齢の方も多いので、安全安心の観点からも早急に車止めのポールを設置したい。

国道３４号整備促進を

国道34号線北方町大崎の北方工業団地入り口交差点周辺の混雑がひどい。地元からは交差点の3車線化、歩道の設置要望が強い。対応はどうなっているのか。
古川まちづくり部長／北方工業団地入り口交差点周辺の混雑と渋滞は市としても認識をしている。県へも再三要望している。交差点の改良について県は、現道拡幅ではなく新たな線形での国道取り付けを検討中であり、現道拡幅は考えていないとのことである。

国道498号の新しいルートは平成27年度公表予定であったが、いまだ発表に至っていない。今後どのようになるのか。
古川まちづくり部長／昨年の県の公共事業評価委員会において平成29年度新規整備箇所として承認されたが、国道取り付け協議に時間を要している。協議がまとまり次第発表すると聞いている。

平成27年度に公表すると言っておきながら発表されていない。地元には不信感がある。市から地元に出向き情報を提供するとともに、地元との事前協議も必要ではないか。
古川まちづくり部長／新ルートが決まっていない段階で地元と協議した結果、混乱が生じた例がある。県としてはルートが整ってから地元に説明したい考えである。市としては県と連携して情報提供をしていきたい。

北方町の国道34号バイパスは平成29年度完成に向け急ピッチで工事が進んでいる。問題はその先のルートだ。古賀誠先生を通じて市長も要望活動を行っている。国の事業認可はどのような状況なのか。
古川まちづくり部長／北方町の国道34号バイパスの延伸については早期事業化に向けて要望活動を行っている。国においては前向きに検討されており平成29年度中には何らかの動きがあると期待している。
小松市長／国道34号バイパスの延伸については一日も早い事業化を目指し、自らも東京行くたびに要望活動をしている。また来たのかと言われることもある。私自身は前向きの感触を得ている。引き続き先頭に立って精力的に要望していく。

朝日小学校周辺道路の積極的整備を

朝日小学校の西側、高橋川の管理道路はグラウンド、プール、給食室などへの進入路として使用されている。しかし舗装されていないため荒れている。早急に整備すべきではないか。
諸岡こども教育部長／高橋川は県河川のため、これまでも県へ整備を求めてきた。しかし砂利が敷かれただけの未舗装状態であるため凹凸が生じている。県へ舗装整備を強く要望したい。

県が積極的に舗装を行うとは考えられない。保育園も隣接しておりまた朝日町のコニュニティーの中心部に位置する。教育部とかまちづくり部とかにこだわらず、市全体として動いていただきたい。
小松市長／現場の道路状況は承知している。まずは現場の状況をしっかりと確認し、どのような課題があるのか、どのような対策がとれるのか、検討させていただきたい。

朝日小学校の北部、高橋川の右岸と左岸には農地が広がっている。両岸の農地をつなぐ橋がないため、農業者からは橋梁設置の要望がある。農道橋整備事業に取り組んでほしい。
古川まちづくり部長／先ずは、周辺の耕作状況や農道の利用状況、費用等について調査・研究をさせていただきたい。

武雄市議会議員　よしかわ里已（さとみ）　武雄市朝日町甘久　電話 050－5317－9932